

重点施策 4 教育環境条件の整備充実

【施策方針】

- 子どもたちにとってより望ましい教育環境の実現のため平成24年度に策定された八幡浜市学校再編整備実施計画に基づき、小・中学校の統合を検討、協議し、学校規模の適正化による教育効果の向上を図る。
- 科学的な知識、技能及び創意工夫の能力を養うため、理科教育備品の整備を図る。また、引続き、教材、管理備品、学校図書などの学習環境の整備を図るとともに、健康及び環境保全上の効果を増進する。
- 市内の学校施設の多くは築後30数年が経過し、雨漏り、施設の老朽化、内外装の損傷が著しく、早急な対応を迫られている。また、安心・安全な教育現場を確保するため、耐震指標IS値0.6未満の非木造の学校施設の耐震化を推進する。
- 経済的な理由により就学が困難な児童生徒等を支援するため、就学援助事業及び育英事業の充実を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 学校再編整備の推進 ② 学校施設の整備充実 ③ 教育機器の整備充実
- ④ 施設の耐震化推進 ⑤ 奨学事業の充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 学校再編整備の推進

ア 全国的に少子化が進む中であって、八幡浜市も例外でなく園児、児童、生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進行しており、学級数の減少する学校や複式学級編成になる学校が増えている。また、校舎等の耐震化、施設設備の経年劣化問題などを抱えており、よりよい教育環境を整備・充実することは喫緊の課題となっている。

イ 八幡浜市学校再編整備実施計画に基づき、統廃合にむけた協議を進めた。このうち、川之内小学校は地域との協議が整い、平成26年度末に閉校し、千丈小学校と統合した。

また、「保内中学校・青石中学校学校再編協議会」、「真穴中学校統合地域協議会」を設置し、保内中学校と青石中学校及び真穴中学校と八代中学校の統合についての協議を進めた。

② 学校施設等の整備充実

小学校では宮内小学校校舎等屋上防水改修工事等22件、中学校では松柏中学校給水管修繕工事等13件の営繕工事を行った。

③ 教育機器等の整備充実

ア 理科教育備品の整備（中学校）4,622千円（1/2国庫補助）

イ 教材・管理備品・学校図書等の整備26,578千円（前年度26,029千円）
（幼稚園）71千円（小学校）11,355千円（中学校）15,152千円

④ 施設の耐震化推進

松蔭小学校屋内運動場と八代中学校木造校舎の地震改築工事を実施し、耐震化のための愛宕中学校第1・2校舎と八代中学校本校舎の耐震改修工事実施設計を委託した。

⑤ 奨学事業の充実

ア 要保護・準要保護児童生徒に対し、学用品、修学旅行等の支給を行った。

イ 学資金貸与者27名、貸付額9,132千円。返還者82名、返還額18,427千円（八幡浜市育英会奨学資金の状況）

【学識経験者意見】

- 学校再編については、全国的に少子化が進む中で八幡浜市も例外ではない。平成24年度に策定された「八幡浜市学校再編整備計画」に基づき、統廃合が実施されている。今後は、平成27年度以降の双岩中、真穴中、青石中、保内中の統合に向けて、地元への十分な説明を行い、粛々と進めていただきたい。
- 子どもにとって、さらに卒業生・保護者・地域の人々にとって学校は心のよりどころである。幾つになっても、我が「母校」として大切な存在であるが、その大切な学校が老朽化し、補修や建て替えが必要になってきているのが現状である。すべての要求に応えることはできないかもしれないが、必要に応じて予算をつけていただき、耐震化を含め改修がなされているのはありがたい。今後とも予算確保と計画的な整備を図っていただきたい。

【自己評価】

- 学校再編については、「八幡浜市学校再編整備実施計画」にあるように、小学校では複式学級のある学校、中学校では1クラスしかない学校の統合を進める必要がある。今後も保護者や地域関係者と協議し、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備を進めていきたい。
- 学校施設については、毎年、修繕要望を集約し、学校視察時に説明を受けたうえで計画的に修繕を行っている。緊急性のある修繕についてはその都度対応しているが、財政上の問題もあり、全ての要望に足る十分な予算確保ができていないのが現状である。担当課としても大変苦慮しているが、今後も安全・安心な教育環境を保持するために努力していきたい。
- 教育機器・備品等についても十分な予算確保が難しいが、学校の要望を確認しながら順次整備していきたい。